

兜町の御意見番

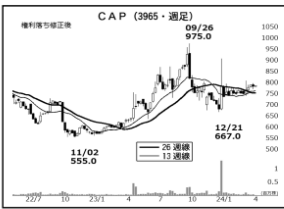
平野憲一の相場 表街道／裏街道 第484回



平野憲一氏プロフィール
1970年立花証券入社、2006年執行役を経て、2014年7月独立。現在、株式会社代表取締役。ケイトマーの鋭い分析の専門家として、日経CNBC、解説委員、日本証券協会検定会員。

キャピタル・アセット・プランニング(CAP、3905・S)はファイナンシャルウェルネス(個人が満足する金融社会)をサポーター、330人のプログラマー・システムエンジニアをもってプログラムを提供しているリーディングカンパニーです。公認会計士として日本で初めて日本証券アナリスト協会検定会員になった北山雅一氏が1990年に設立し、現在は生命保険会社国内4社中3社をクライアントに持ち、三菱UFJフィナンシャル・グループを筆頭にした銀行向けシステム、野村・大和証券などのファンドラップシステムや新NISA(少額投資非課税制度)関連システムなどを提供しています。

CAPに「時代の追い風」



事業継承・財産継承のDX(デジタルトランスフォーメーション)システムを三菱UFJフィナンシャル・グループに提供しました。生成AIを活用し、計算ロジックをAPI(ウェブサービス)が情報をやり取りする際に使用されるインタフェース)を介してCAPが全面提供する仕組みです。このアプリは、既に2022年にメガバンクの支店アドバイザーのコンサルティングシステムに提供されており、顧客本位の業務運営に使われています。

命保険会社においても、死亡保険額や老後の資金繰り計算のシミュレーションに活用されています。

24年9月期の連結業績は売上高87億円(前期比8.1%増)、営業利益3億5000万円(同7.8%増)、経常利益3億4000万円(同2.7%増)、当期純利益2億3000万円(同3.8%増)ですが、同社のクライアントである銀行・生保・証券会社へのシステム提供だけでなく、今後は直接個人富裕層へのアプローチを強めていくと思われれます。人生110年、個人金融資産2141兆円の時代に、資産の管理や相続の相談需要が高まるのは目に見えています。

株価は、2016年の相場後18年に4000円台へ人気化しましたが、その後5000円台の安値を付けるなど長期にわたる調整相場があり、知名度も低下しています。昨年末に9000円台まで急騰し復活の兆候を見せましたが、今年に入り3カ月間の調整中で現在8000円割れです。配当も22年9月期11円、23年15円、24年15円(予想)となっており、地に着いた力を持つ企業です。いよいよ同社の時代が来たと思います。

※毎週水曜日に掲載します。